

NO. 1 事業名 林道事業〔森林基幹道開設事業（国補）〕

箇所・地区名 ほそのししどめ
細野鹿留線

平成22年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	林道事業〔森林基幹道開設事業（国補）〕		事業箇所	都留市大野、鹿留	地区名	細野鹿留線	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再々評価時の評価状況 （平成17年度再評価） 構造物や道路幅員の縮小などコスト削減に努めるとともに、新たな工区の追加を行うなど時間、工程管理を徹底し予定どおり平成30年度の完成を図りたい。																
計画期間	H8～H30	—	—																	
総事業費	6,685百万円	—	6,190百万円																	
(1) 事業の概要				(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																
①事業目的及び効果 本路線は都留市大野と、鹿留を結ぶ連絡林道であり、都留市南東部の御正体山北面一帯の県有林を中心とした広大な森林を管理経営することを目的とする森林基幹道である。 利用区域1, 869haのうちスギ・ヒノキ等の人工林は65%を占めており、森林を適正に管理し、資源を循環利用する木材生産に加え、国土保全、水源かん養、保健休養等の森林の公益的機能を発揮させるための基盤となる林内路網の骨格的な林道である。 また、県道都留道志線と鹿留地区、忍野村への連絡により地域道路網の機能の向上を図り、地域振興、活性化に寄与する。				①地域・住民の意向状況 近年、森林に対して木材の生産や国土の保全、水源のかん養はもとより、自然とのふれあい、教育の場としての機能発揮も期待されています。本林道についても、本来の目的である林業経営のための施設としての役割には大きな期待を抱いておりますが、地域間の連結道路、山村地域の振興、鹿留川や御正体山周辺のレクリエーション活動などの森林空間を活用した地域振興のため本林道整備の早期促進を要望します。 （都留市長からの早期整備要望書より。H22.4.28）																
②事業概要 森林基幹道 計画延長 19,100m 幅員 5.0m （うち新設 15,200m） （うち改築 3,900m） 利用区域面積 1,869ha 森林資源蓄積量 238,019m ³				②産業・経済情勢 なし。																
③全体計画				③国等の方針変更 なし。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度まで</th> <th>平成22年度 (評価実施年度)</th> <th>平成23年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設延長</td> <td>6,450m</td> <td>1,000m</td> <td>11,650m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,090百万円</td> <td>270百万円</td> <td>4,325百万円</td> </tr> </tbody> </table>					平成21年度まで	平成22年度 (評価実施年度)	平成23年度以降	開設延長	6,450m	1,000m	11,650m	事業費	2,090百万円	270百万円	4,325百万円	④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画（平成17年3月） ・山梨県東部地域森林計画（平成21～30年度） ・県有林管理計画（平成18～27年度）				
	平成21年度まで	平成22年度 (評価実施年度)	平成23年度以降																	
開設延長	6,450m	1,000m	11,650m																	
事業費	2,090百万円	270百万円	4,325百万円																	
④特記事項 平成9年に県産材流通の拠点として、原木市場、製材工場、プレカット工場からなる「甲斐東部木材団地」が隣接する大月市に設置され、県東部地域の林業・木材産業の振興が図られている。				⑤自然環境条件等の変化 なし。																
				⑥その他 なし。																
				(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																
				・事業採択時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 便益(6,799百万円)/費用(5,673百万円) = 1.20 > 1.0 (平成17年度再々評価) ・再々評価時計画における事業全体B/C 便益(7,732百万円)/費用(6,294百万円) = 1.23 > 1.0 (平成22年度再々評価) (林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出 事業採択基準値1.00以上)																

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 なし。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり。</p> <p>③進捗率 (整備済計7,450m/全体19,100m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17*</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>39</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>65</td> <td>71</td> <td>82</td> <td>93</td> <td>100</td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">*再々評価年度 (H22は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設区間において、平成20年度から新規に御正体東及び西工区で工事着手し、4工区で施工する計画であったが、両工区で利用する資材運搬道の設置のため、平成20年度の計画延長が確保できなかったことにより、若干計画に遅れが生じている。 		H17*	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	計画	21	24	27	32	37	42	48	53	59	実績	21	24	26	29	34	39					H26	H27	H28	H29	H30	算出方法	計画	65	71	82	93	100	計画延長/総延長×100	実績						実施延長/総延長×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設区間は、平成21年度以降4工区で施工しており、今後は計画延長を確保できる見込みである。また、改築区間は、予定通り平成28年度から着手する。 ・路線全体としては、今後もコスト縮減を行いながら平成27年度には計画進捗率を回復し、平成30年度に完了できる見込みである。 <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費の見直し <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現計画</td> <td>6,685百万円</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td>6,190百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">495百万円の減</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績を踏まえた残事業費の見直し ・構造物や道路幅員の縮小、法面保護の見直しなどのコスト削減 	内 容	総事業費	現計画	6,685百万円	見直し後	6,190百万円	495百万円の減	
	H17*	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																																																			
計画	21	24	27	32	37	42	48	53	59																																																			
実績	21	24	26	29	34	39																																																						
	H26	H27	H28	H29	H30	算出方法																																																						
計画	65	71	82	93	100	計画延長/総延長×100																																																						
実績						実施延長/総延長×100																																																						
内 容	総事業費																																																											
現計画	6,685百万円																																																											
見直し後	6,190百万円																																																											
495百万円の減																																																												
(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]																																																												
<p>地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡及び法面保護工の見直し、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては幅員の縮減を行い、改築区間における既設構造物の利用など、総合的なコスト縮減に努める。</p>																																																												
(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]																																																												
なし。																																																												
(7) 所管部の今後の方針 継続・ <u>見直し継続</u> ・その他()																																																												
<p>今後の事業計画により、平成30年度の完成が見込まれることから、工程管理の徹底やコスト縮減に努めながら事業を継続する。</p>																																																												

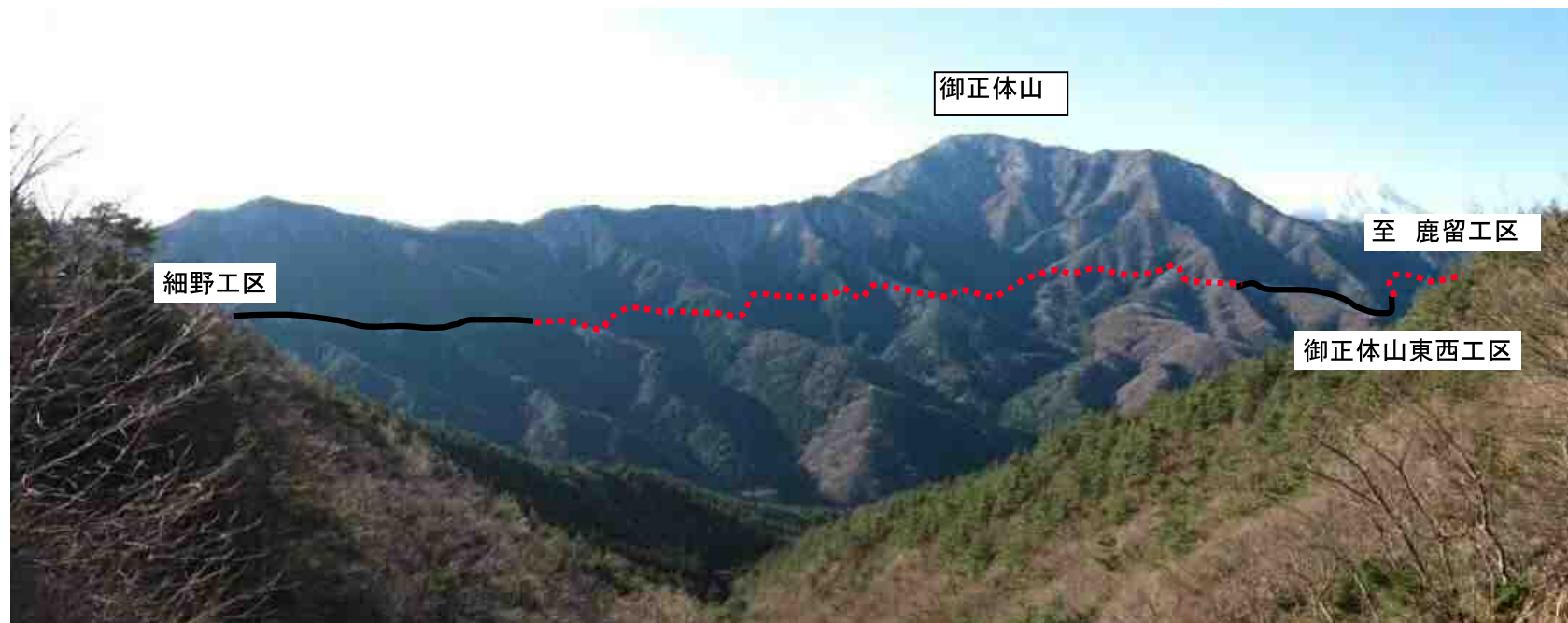
省略

森林基幹道 細野鹿留線全体計画表

年 度	全 体 計 画					工 区 別 内 訳	細 野 工 区	御 正 体 山 東 工 区	御 正 体 山 西 工 区	鹿 留 工 区	改 築	備 考
	延長(m)／年	延長累計(m)	事業費 (千円)／年	事業費累計	進捗率	事業区分	延 長 (m)	延 長 (m)	延 長 (m)	延 長 (m)	延 長 (m)	
H8	0	0	35,000	35,000	0%	新設						全体計画調査
H9	560	560	135,000	170,000	3%	新設	171			389		
H10	343	903	127,000	297,000	5%	新設	159			184		
H11	603	1,506	233,000	530,000	8%	新設	256			347		
H12	310	1,816	130,000	660,000	10%	新設	256			54		
H13	455	2,271	177,000	837,000	12%	新設	133			322		
H14	342	2,613	110,000	947,000	14%	新設	189			153		
H15	313	2,926	117,000	1,064,000	15%	新設	159			154		
H16	408	3,334	117,000	1,181,000	17%	新設	213			195		
H17	707	4,041	147,800	1,328,800	21%	新設	349			358		
H18	528	4,569	131,000	1,459,800	24%	新設	261			267		
H19	449	5,018	140,000	1,599,800	26%	新設	242			207		
H20	428	5,446	210,000	1,809,800	29%	新設	244	11		173		
H21	1,004	6,450	280,000	2,089,800	34%	新設	184	279	329	212		
H22	1,000	7,450	270,000	2,359,800	39%	新設	380	200	200	220		
H23	1,200	8,650	420,000	2,779,800	45%	新設	300	300	300	300		
H24	1,200	9,850	420,000	3,199,800	52%	新設	300	300	300	300		
H25	1,200	11,050	420,000	3,619,800	58%	新設	300	300	300	300		
H26	1,200	12,250	420,000	4,039,800	64%	新設	300	300	300	300		
H27	1,220	13,470	430,000	4,469,800	71%	新設	307	313	300	300		
H28	2,100	15,570	580,000	5,049,800	82%	新設・改築			300	300	1,500	
H29	2,100	17,670	580,000	5,629,800	93%	新設・改築			300	300	1,500	
H30	1,430	19,100	560,200	6,190,000	100%	新設・改築			265	265	900	
H23以降		11,650	3,830,200				1,507	1,513	2,365	2,365	3,900	
合計	19,100		6,190,000				4,703	2,003	2,894	5,600	3,900	

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線における木材搬出の状況



林道先線の要整備森林の状況

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



既設林道状況



甲斐東部木材団地の原木市場